

委員会提出議案第1号

議会評価意見書の提出について

上記の議案を、小松島市議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出します。

令和2年9月29日

小松島市議会議長 出口 憲二郎 殿

提出者 予算決算常任委員会  
委員長 前川 英貴

令和元年度事務事業  
議会評価意見書

小松島市議会

## 議会評価意見書①

事業名	2-1-3 小松島市ふるさと応援寄附金事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>本事業は、貴重な自主財源の確保並びに地元製品の販売及び広報の一助となっており重要な事業である。まず魅力を感じる本市の特産物を生み出していくことが必要である。小松島市の6次産業化につながる新たなものを考案するとともに、寄付者の利便性向上と体験型返礼品などの採用を行う。さらに、県外にいる家族・親戚・同級生・知人等に対して小松島市民が、本市のふるさと納税を呼びかけるような取り組みも検討する。</p>		

## 議会評価意見書②

事業名	2-1-7 移住定住促進事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>人口減少問題は喫緊の課題であり、この問題に歯止めをかける為に必要な事業であり、今後も継続的に取り組んでいかなければならない。</p> <p>また、関係人口の創出への取り組みや、移住先として選ばれる本市独自の魅力ある施策が必要であることから、先進地事例なども調査研究し継続した取り組みを行う必要がある。若い世代を中心にした雇用、子育て支援対策を充実するとともに、Iターン、Uターン等の施策に積極的に取り組まなければ移住、定住に繋がらない。</p>		

### 議会評価意見書③

事業名	2-1-9 プレミアム付商品券事業	
議会評価	5	完了
<p>【評価説明】</p> <p>今回の事業は住民税非課税世帯や、子育て世代を対象とする商品券購入者に対しプレミアム分を上乗せする事業で、プレミアム分を含む事務費等について国の 100%補助事業であった。しかしながら、市民にとって有意な商品券の購入申請率は、対象者のうち約 50%にとどまったことから、低調となった要因の検証が必要である。</p> <p>今後、市独自で類似事業を行うなどの場合は、先進地事例を調査・研究するとともに、キャッシュレス制度の導入を活用するなど経費を節減し運用できるよう、効率的に実行する手段を考察する必要がある。</p>		

## 議会評価意見書④

事業名	2-3-1 災害対策事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>災害対策に終わりはない。近年多発する自然災害や、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震へ向け、あらゆる手段で防災・減災対策に取り組まなければならない。本市の住宅密集地域の多くが海拔ゼロメートル地帯にあり市民の防災に関する意識は高く、各自主防災組織を中心に各種訓練や地域単位での更なる防災訓練や防災講話の実施を強化すべきである。</p> <p>また、必要不可欠な津波緊急一時避難場所の増設や、避難施設になりえる建築物等の建設にかかる民間への補助金制度を創設すべきである。そして、市民の災害に対する意識向上の為に、啓発の機会を増やし自助力の強化に向け、防災士取得の補助金制度を導入すべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑤

事業名	4-1-6	農業振興費負担金・補助金 (強い農業づくり交付金事業)
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>補助メニューの交付率の誤りから国へ交付金を返還した経緯を深刻に受け止める必要がある。今後、事務執行にあたり十分な審査・確認体制をもって取り組んでいかなければならない。</p> <p>近年の農業従事者の高齢化、後継者不足等は深刻である。今後は後継者及び担い手の育成、並びに農地の集積、生産技術の高度化、収益力の強化等の観点からも総合的な強い農業づくりを目指す必要がある。事業を行う中で、意欲のある担い手や事業者のニーズ調査をしっかりと行い、国から与えられた交付金を有効に活用できるよう、市として更に取り組みが求められる。</p>		

## 議会評価意見書⑥

事業名	4-1-15 6次産業化支援事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>ブランド産品育成、地産地消及び6次産業化の推進に資源を最大限に有効活用すべきである。本事業にて業務委託等により人材セミナーやインターンシップ研修などを行っているが、成果及び事業構築フレームが見えにくい。</p> <p>また、事業の重要な判断指数である事業者の活用が3者しかない事からも公平性・透明性を高めるため、今後は、業務委託先等の公募及び選定等について広報・周知を行い、特定の団体等に偏らないような選定手法を取り入れる必要がある。このようなことに留意しつつ、本事業を着実に大きな成果へと繋げていくことが求められる。</p>		



## 議会評価意見書⑦

事業名	4-2-4 雇用創出事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>ハローワークと本市行政機関の合同開催により、参加企業及び参加求職者の安心感に繋がっている。事業の成果指標については、目標達成に至っていないが、参加企業数並びに参加者数については年々上昇している事から、今後においても更に関係機関等と連携強化を図っていく必要がある。また、新卒採用、一般的な中途採用はもちろんの事、子育て中の共働き世帯等、多様なワークスタイルに対応できる市内事業者への就職や企業誘致活動を積極的に行い、雇用の場をつくることが求められる。</p> <p>なお、本事業は移住促進にも繋がる可能性が高いため、移住定住促進事業とセットで考える必要もある事から、各課の異なる事業に対し職員間の連携体制が求められる。</p> <p>また、新たに完成した交流スペース kocolo の開館時間を延長するべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑧

事業名	4-2-6 観光・イベント振興事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>本事業は過去3ヶ年に渡り抽出した事業であり、昨年行政から改善書による報告を受けたが、その成果が見えてこない。</p> <p>観光地、食の魅力等、更なる発信をしていくため、観光プロモーション動画を有効に活用し、小松島市への注目度を高める取り組みを継続的に行うべきである。また、港まつり、花火大会、イベント等の開催も、マンネリ化しないよう、費用対効果や内容の充実が求められる。</p> <p>さらには、本市ならではの体験型観光についてもより一層強化し、今後においては、現在新たに建設されているホテルや関連民間企業と連携した観光振興、イベント企画及び観光ボランティアの養成等についても注力すべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑨

事業名	4-3-3 側溝清掃事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>昨年と同様、近年、台風や集中豪雨による大規模水害が全国各地で頻発しており早急な対策が望まれる。市民からの要望が高い事業であるとともに、側溝の土砂汚泥の堆積により排水の悪化に繋がっており、災害時には浸水被害のリスクが高まることが予測される。地元自治会・水利組合等と協議しながら、整備も含め、更に適正な維持管理に努めるべきである。また、市民要望から事業着手までに時間を要しているため、行政評価の課題のとおり業務委託に関する事務作業の更なる効率化が必要であり、早急に改善を求める。</p>		

## 議会評価意見書⑩

事業名	4-3-8 公園管理事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>各公園の現状は、草木の伐採や樹木の剪定等が必要であり、また、施設の老朽化対策も喫緊の課題である。</p> <p>今後は、維持管理体制の強化及び定期的な点検・計画的な修繕・更新が求められる。また、老朽化など維持管理に費用がかかるため、ネーミングライツ、アドプト事業など積極的に取り組みを増やす必要がある。</p> <p>市民が安全かつ快適に利用できる公園施設となるよう取り組むとともに、マナー向上の積極的な啓発が求められる。</p>		

## 議会評価意見書⑪

事業名	4-4-9 金磯地区まちづくり事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>昭和58年4月に策定された金磯地区基本計画に基づき事業が開始され、37年が経過しているが、未だ計画完了の目途が立っていない。計画の進捗状況を精査し、予算編成も含め、計画の見直しが望まれる。</p> <p>同地区は、現在も浸水被害に対する道路、排水路などの社会インフラの整備が遅れており、スピード感をもって住環境整備に努めるべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑫

事業名	4-5-4 空き家等対策事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>さらに進むであろう少子高齢化により、倒壊危険度の高い空き家が現在より増加する恐れがある。周辺環境の悪化をはじめ、災害時に倒壊し、避難や救助活動の妨げになりかねず、特に危険度Eランク空き家に対しての除却や管理依頼等の対応をより一層強力に推進する必要がある。</p> <p>一方で除却に対する補助金の増額を行い、また除却後の固定資産税の軽減措置等を導入している自治体もあることから、調査・研究をし、事業推進に向け努力すべきである。</p>		

議会評価意見書⑬

事業名	5-4-2 ごみ減量・再資源化推進事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>本市の1日1人あたりのごみ排出量は、全国および徳島県平均を上まわっており、減量化に対する市民の意識はまだまだ低い。ごみ減量化は市民の協力なくして進めることはできないため、環境学習に取り組む機会の提供や学校教育での啓発なども必要である。</p> <p>資源ごみを回収する団体数も高齢化などで減少することが予測され、ごみ減量化やリサイクル率向上に向けた新たな支援や取り組みが必要である。</p>		

議会評価意見書⑭

事業名	6-2-22 ミリカホール自主公演事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>文化・芸術に触れられる機会を多く設けるべきだが、現在の限られた予算と人員の中、自主公演数・来場者数を伸ばすのは容易ではない。公演開催経費の縮減策として、今後も共催事業の実施や助成事業を活用しつつ、抜本的な改善を図る一つの手法として、公演事業やホール全体を民間委託することも引き続き検討すべきである。</p>		



## 議会評価意見書⑮

事業名	6-4-27 幼児教育無償化制度事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>政策として妥当性が高く、少子化対策において有効だと判断する。</p> <p>しかしながら、今後益々多様化するニーズに対応していくことと、今回の無償化により、入所希望の増加が予測されるため、保育士の安定的確保を図ることや、就学前教育の充実が求められる。</p> <p>なお、近隣自治体においては、0才～2才児の無償化の動きもあるので早急な検討が必要である。</p>		

## 議会評価意見書⑩

事業名	7-1-1 インターネット環境維持事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>ICT 環境の整備が望まれ、情報活用能力育成のためにも「活かせる ICT」の実現に取り組む必要がある。子ども達が課題を調べ、コミュニケーション力を高めていく中で、問題対応力の実現に向けての取り組みが求められる。</p> <p>また、ICT を活用した大型掲示装置や子ども達一人一人が持つタブレットにより、分かる授業や学ぶ楽しさに繋がると期待している。</p> <p>課題として、パソコン機器、更新時期の財源確保を念頭においておかなければならない。</p>		

議会評価意見書⑰

事業名	7-1-6 遠距離通学支援事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>従前の事業において議会意見書として改善を求めた結果、路線バスを活用することにより、歳出経費が5分の1程度まで圧縮できたことは評価できる。</p> <p>本事業は当然継続すべきもので、通学も教育の一環であり、何より安全が一番に求められるため、通学支援員の安定的確保を図りつつ、引き続き地域住民の理解・協力を得ていく必要がある。</p>		

議会評価意見書⑱

事業名	7-1-7 姉妹交流補助事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>本別町と本市のこれまでの交流を考えると、切り離せない繋がりがあり、今後も継続していくのが望ましい。子ども達が広く交流する機会は、相互を理解するため、自分たちの住んでいる地域を見つめ直すことに繋がりが、良い効果を期待できる。</p> <p>30年目の節目になるため、マンネリ化しないよう、関係者の意見を聞き、方針や内容について検討する必要がある。</p>		

## 議会評価意見書⑱

事業名	7-3-3 小松島市立学校再編実施計画策定事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>施設が老朽化すると同時に、少子化が進行している中での再編計画であるため、早期の策定が望まれるが、教育委員会は市長部局としっかり連携した上で、これまでの意見・要望はもとより、これから出てくる課題も含めて対応する中で、市民との合意形成を図るべきである。</p> <p>なお、策定について、子ども達にとってよりよい教育環境整備はもちろんのこと、長期的ビジョンを持つことが求められる。</p> <p>また、「徒歩通学児童をできるだけ確保する」ことは、将来的に児童の健康面等の不安解消に繋がる、という意見もある。</p>		